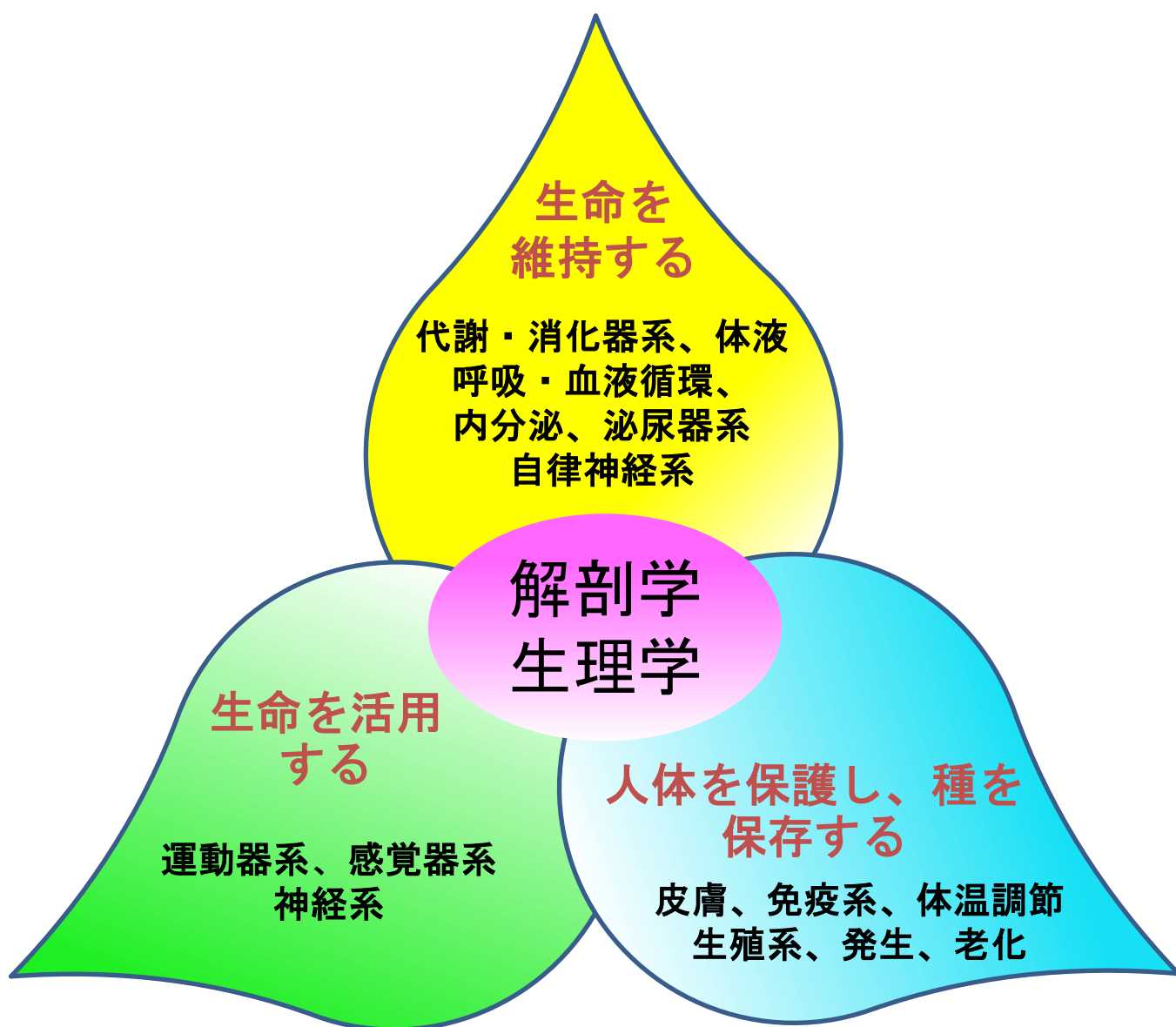


生体科学研究室 研究紹介

教育目標：医療・看護の基礎を支える解剖学（人体の形態と構造を学ぶ領域）と生理学（役割と機能を学ぶ領域）を中心に人体の生命現象を学び・理解し・看護に応用する。

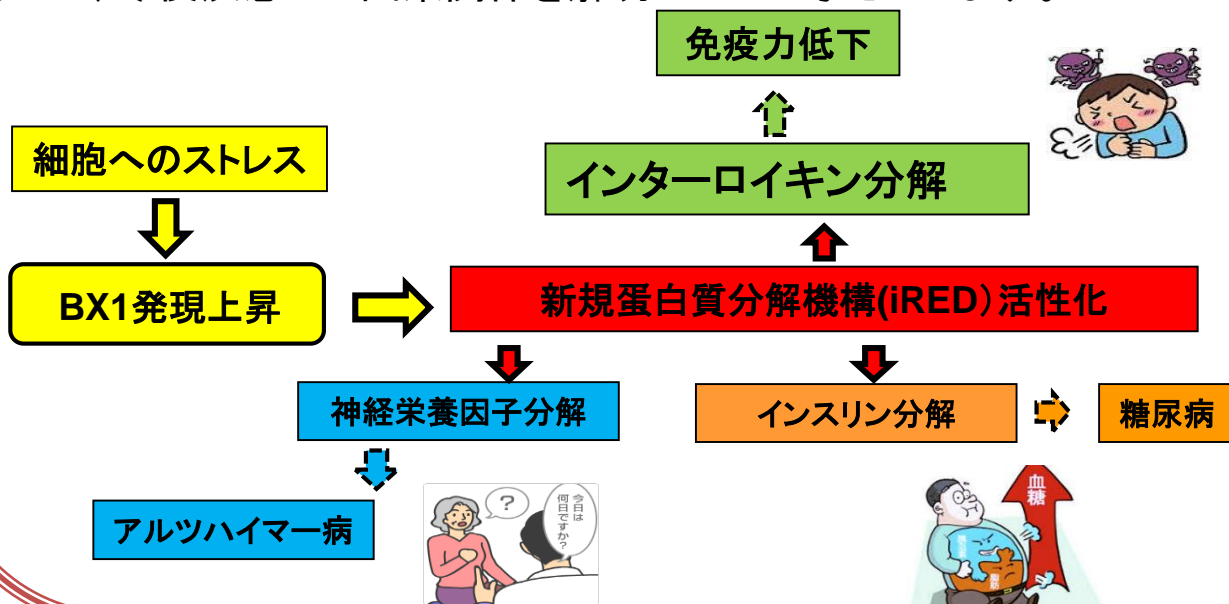


これらの学習を基盤として、看護学の基礎・各論領域へと発展させます。

生体科学研究室 研究紹介

新規タンパク質分解機構の病気への関与を解明

一般に、小胞体内で合成された分泌タンパク質の運命は、
1) 正常の場合、ゴルジ体へ輸送され細胞外へ分泌される。
2) 異常の場合、細胞質へ逆輸送され主にプロテアソームで分解されます。
我々は、正常の分泌タンパク質がストレスにより分解される新規分解機構を見出しました(図参照)。新規分解機構を誘発するBX1のノックアウトマウスを用いて、今後疾患との因果関係を解明したいと考えています。



周産期のお母さんとこどもの食事指導

出産適齢期、妊娠中、産後、子育て中の人たちが、適切な食事の情報を手に入れられる仕組みを作りたいと思っています。お母さんたちの関心事であるダイエットや食物アレルギー、離乳・幼児食などを中心とした実態調査をとおして、有効な指導法はなにかと考えています。

代謝性骨疾患への多面的アプローチ

糖尿病、腎不全などに伴う骨疾患(代謝性骨疾患)に対し、基礎実験ならびに患者さんを対象としたフィールド調査を行いその原因と進行抑制因子の検討を行っています。